

新年度4月1日(土)雨の日となる。気温も下がり冬の服装に逆戻りする。関東甲信越の山沿いは雪との天気予報。翌日に日帰り登山を考えていたので、雪道を歩きたい私としては喜ばしい。雪が少しでも積もっているといいなあと、軽アイゼン、ステッキを準備。今回は数ヶ月ぶりに夫も同行するという。「リハビリ登山だね。」と夫が言うので、歩行時間短めの山を探す。奥多摩、丹沢、山梨、奥秩父の地図を広げ吟味した結果、秩父鉄道「三峯口」から歩いて登れる秩父御岳山に決める(他にも登山コースあり)。地図上では5時間歩かないコース。久々の秩父の山。準備していたら夜中12時を回ってしまう。急いで就寝。

4/2(日) 6時10分自宅を出発。

信号待ちをしていると旦那が、財布を忘れたことに気づく。走って戻る。

6時25分 武蔵新田駅出発。

池袋駅に出て、西武池袋線に乗り換える。今まで山に向かう為に都心を経由することがなかったので変な気分である。

7時30分

西武秩父行き特急列車、レッドアロー号に乗車(利用の際は、乗車券の他に特急券が必要)ちょっと旅行気分が味わえる。

8時51分 西部秩父駅に下車。特急券のみ回収される。

8時57分 西武秩父線三峯口駅行に乗車。

9時17分 三峯口駅に下車。

ICカードにての清算ができないので現金払いとなる。ICカードの処理は帰りに清算してくださいと証明書をもらう。数人の方が降りたが、ほとんどが三峯神社に向かうバス停に並んでいる。

9時25分 出発。

改札を出て右手に進みしばらく道路沿い歩く。白川橋を渡り、140号線という大きな道路に出たら右に曲がる。少し行くとかかしの里という分岐が現れ、かかしの里の方へ進む。たくさんのかかしがあちこちに展示?されている。昼見てもちょっと恐い。夜見るとさらに不気味に感じるのではなからうか?



御岳山の標識と共にクマ出没注意の看板も現れる。「クマ鈴持ってきてよかったね」というと「え?持ってきてないよ」と夫が返答。家を出る前にちりんちりん鳴らしていたクマ鈴は出窓に置いてきてしまった。他人任せはいけません。カギに付けていた小さな鈴を鳴らすことになる。E0Jのミニベルを今後はカギに付けておこう。





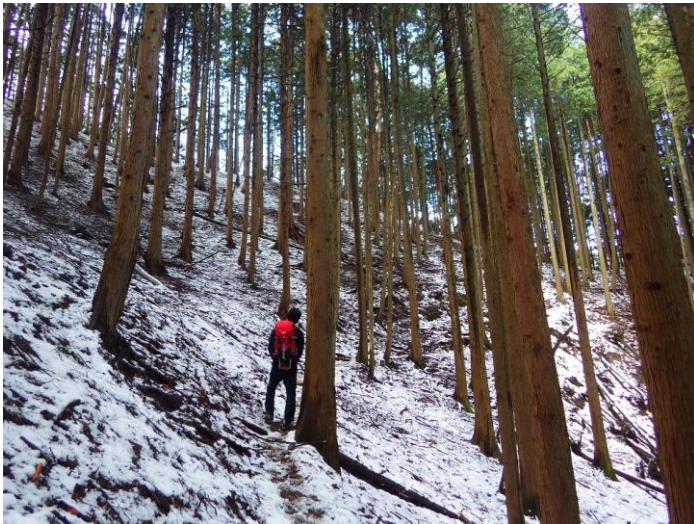
(登り始めは石の階段から始まります)



(二番高岩、絶景が楽しめます)

道路沿いから山道に入る。奇形の墓と称されたお墓を通りすぎる。明るい林道で、登りもゆるやかである。途中「一番高岩」「二番高岩」「三番高岩」と景色を楽しむポイントがある。

しばらく歩くと積雪が現れる。やはり数日の雨は山では雪だったようである。軽アイゼンを付けなくても歩けそうな雪質だったので、そのまま進む。



(分岐手前の斜面。ここを登りきると分岐地点となる)

11時10分 猪狩山(鞍掛山)との分岐点到着。

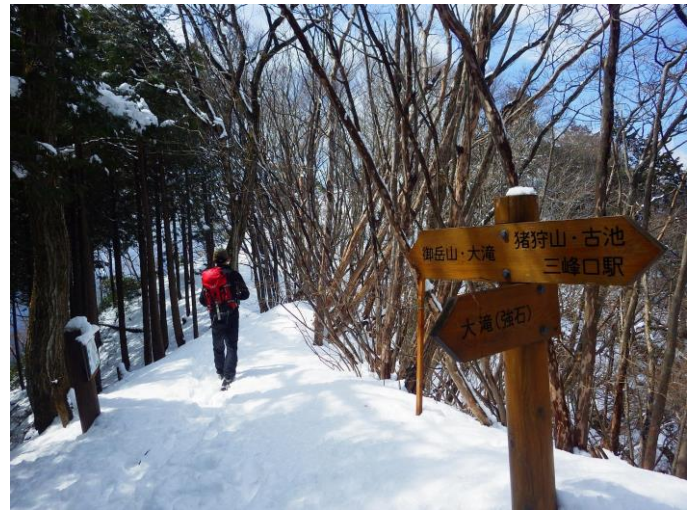
思ったより早い到着に驚き小休憩。気持ちの良いコースである。こちら辺から雪の量も増えてくる。急な斜面も出てくるが、雪の量的にキックステップができないので、ステッキがあると進みやすいであろう。夫も数回滑っていた。

11時48分 強石との分岐点通過。

案内版があり「大規模な山崩れが発生したことから落合コースは閉鎖となっています。大変危険ですのでコース内には絶対立ち入らないで下さい」と崩壊地点に○印が付いている。しかしながら、この案内板がいつから設置されているのかが不明である。



(黒○の部分崩壊地)



(山頂手前、強石との分岐)

11時50分 標高 1080.5m 秩父御岳山山頂到着。

祠、鐘、賽銭箱が祀られている。5人ぐらいであろうか、狭い山頂なので賑わっている。雲が多かったが大パノラマが広がる最高の山頂である。



(山頂手前の登り)



しばらく山頂の景色を楽しんだ後、うしろから来られた登山者に山頂を譲り少し下がった場所で昼食を摂る。今回もしっかりバーナー持参。温かいラーメンを堪能し体を温める。

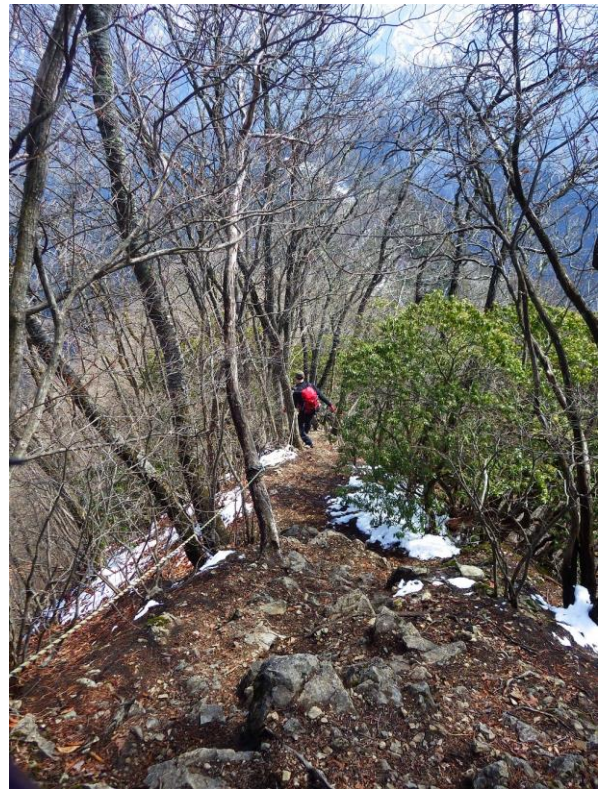
山頂が空いたところを見計らって再び山頂に。二人の登山者が出発の準備をしている。「静かな山ですね」と話しかけると「先週も来ましたが、静かでしたよ。先週は全く雪がなかったんですけどね」との返事。二人の方は、一部崩壊している落合コースで下山するとのこと。雪のない時期に通ったことがあり、迂回する道があるとのこと。「気を付けて下山してください」とご挨拶。

12時40分 山頂出発。

強石との分岐まで戻る。強石から急斜面をくだる箇所がいくつかある。途中、ロープが張られているところや雪と土でぬかるんでいるところもあり、転倒に注意。



(↑ 強石分岐からの斜面
ロープが張られた痩せ尾根 →)



一度林道を横切り、再び森の中へ。

13時35分 杉ノ峠着。

樹林帯をひたすら下る。途中、綺麗な白い花が咲いた低木が密集している。不思議なことに上から見ると白いのだが下から花をのぞき込むと黄色い花が咲いている。何という木なのであろうか。

樹林帯を抜け林道にでる。ここから強石のバス停まで、道路沿いを進まずショートカットで降りる。一見、他人の庭を通過しているのではないかと思うが、標識が出ているので通過していいようである。

14時10分 強石バス停着。

バスの待ち時間が長いようであれば三峯口駅まで歩こうかと考えていたが、14時32分に来るようである。まだ時間に余裕があったので、次のバス停「荒川局前」まで歩く。

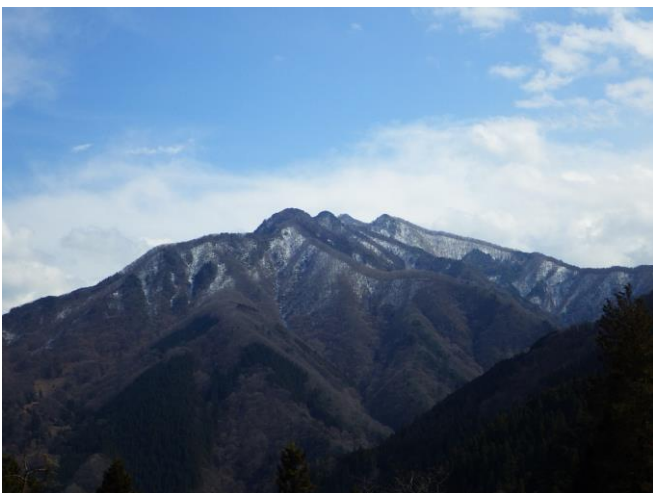
14時33分 荒川局前バス停から三峯口駅までバスで向かう。

乗っているのは我々二人のみである。三峯口駅着。帰りの電車の発車まで40分近く時間に余裕があるので近くの茶屋で缶ビール購入。お店の方がキノコの天ぷらをサービスしてくれる。ご馳走様！登山後のビールに天ぷら、豪華である。おいしい！！

天气に恵まれ残雪の山も楽しめた一日。

この時期、低山とはいえ軽アイゼンが必要な場合もあります。情報はしっかり収集し楽しい登山をしてください。

さて、今回山頂から見えたカッコいい山「和名倉山」いつか登りに行こう！！



- 9時25分 三峰口駅発
- 11時10分 猪狩山(鞍掛山)分岐点着
- 11時50分 秩父御岳山着
- 12時40分 秩父御岳山発
- 13時35分 杉ノ峠着
- 14時10分 強石バス停着

文責:松田留美 同行者:松田次郎

(←樹林帯を抜けて林道から見た和名倉山)